TASCAM

D01194201B

US-322/366 USB Audio Interface

クイックスタートガイド

このたびは、TASCAM USB Audio Interface US-322/366をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機は、パソコンをベースにしたデジタルレコーディングシステムの中で使用したり、パソコン、ゲーム機、ギターやシンセサイザーなどの楽器、またはマイクでのナレーションの音などを手軽にミックスして、インターネット上での生放送を行うのに最適でコンパクトなUSBインターフェースユニットです。付属のドライバーソフトには、フェーダーやつまみ、ボタンなどを配置したミキサー画面や各種エフェクト画面があり、より直感的な操作が可能です。本機はUSB電源のみで動作しますので、ノートパソコンと組み合わせることにより、非常にコンパクトなシステムを組むことができます。
本書では、本機の基本的な操作例を紹介します。詳細については、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）から取扱説明書をダウンロードしご確認ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠	**警告　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。**
禁止	**この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない** 火災・感電の原因となります。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。
分解禁止	**この機器を改造しない** 火災・感電の原因となります。

⚠	**注意　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
指示	**電源を入れる前には、音量を最小にする** 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
禁止	**ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。** 耳を刺激する様な大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪影響を与えることがあります。
禁止	**次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。** ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・湿気やほこりの多い場所 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

その他の注意

- 次のような場所に設置しないでください。故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - ほこりの多い場所
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本機の上に物を置かないでください。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後にご使用ください。

この装置は、クラスB技術情報装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。
VCCI-B

ドライバーソフトをインストールする

本機を使用するには、パソコンにドライバーをインストールする必要があります。
以下に述べるように、本機に付属のドライバー CD-ROMを使って簡単にインストールすることができます。
ドライバーは、随時更新されています。最新のドライバーは、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp**）からダウンロードすることができます。

Windows用ドライバーのインストール

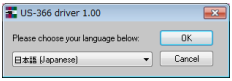
注 意

ドライバーのインストール中に、**《Windowsロゴテストに合格していません...》**という警告が表示されることがあります。このメッセージが表示されたときは、**《続行》**をクリックしてインストールを続けてください。

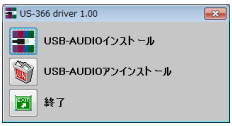
パソコンにUSBケーブルで接続する前にドライバーをインストールしてください。USBケーブルを接続した場合には、Windowsによるドライバーのインストールをキャンセルしたうえで、USBケーブルを抜いてください。

1. 付属のドライバー CD-ROMをご使用のパソコンにセットします。

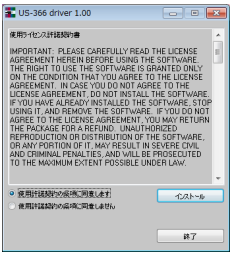
2. メニュー画面が表示されたら、**《InstallDriver》**ボタンをクリックしてください。メニュー画面が表示されない場合は、付属のドライバー CD-ROM内のファイルを参照して**《Autorun》**フォルダー内の**《Autorun2.exe》**ファイルを実行してください。
3. しばらくすると言語選択の画面が表示されますので、上下カーソルキーを使用して希望の言語を選択し**《OK》**ボタンをクリックします（以降は日本語を選択した場合の画面およびボタン名による説明になります）。



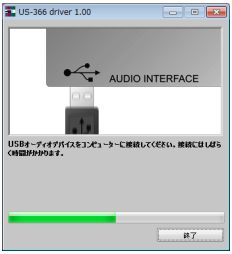
4. 次の画面が表示されたら、**《USB-AUDIOインストール》**ボタンをクリックします。

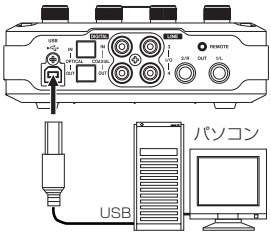


5. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、**《使用許諾契約の条項に同意します》**を選択します。次に**《インストール》**ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



6. 次の画面が表示されたら、付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。



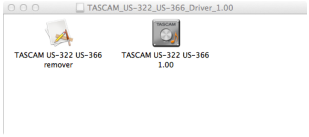


7. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。《再起動》ボタンをクリックして、インストーラーを終了し、パソコンを再起動します。

Mac OS X用ドライバーのインストール

インストールを開始する前に、本機からUSBケーブルを抜いてください。

1. 付属のドライバー CD-ROMをご使用のパソコンにセットします。
2. CDアイコンが表示されるのでダブルクリックします。
3. ドライバーのディスクイメージファイル（《TASCAM_US-322_US-366_driver_1.00.dmg》ファイル）をダブルクリックし、開いたフォルダー内の《TASCAM US-322 US-366 1.00》をダブルクリックします。

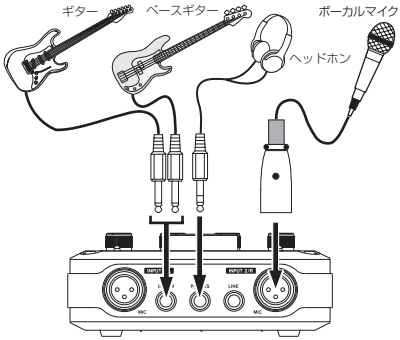


4. インストーラーが起動するので、その後は画面の指示に従ってインストールを進めます。

パソコンを再起動すると、ドライバーのインストールは完了です。

外部機器を接続する

フロントパネル



マイクはXLR、ギターは**INPUT 1/L**チャンネルに接続します。

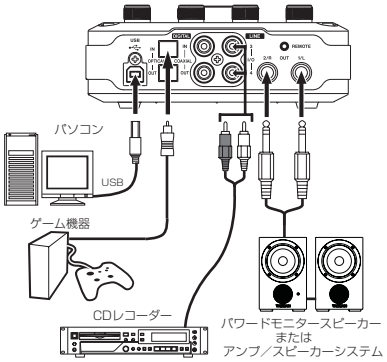
注意

- ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。
- **48V**スイッチのオン／オフ切り換えは、**PHONES**つまみと**LINE OUT**つまみを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。
- **48V**スイッチをオンにした状態でマイクの抜き差しをしないでください。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、**48V**スイッチをオンにしてください。
- アンバランスタイプのダイナミックマイクにファントム電源を供給しないでください。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合はリボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- **48V**スイッチをオンにすると、バッテリー電源のノートパソコンを使って本機を駆動している場合、パソコンの電源の消耗が早くなります。

メモ

本機には、**INPUT 1/L**、**INPUT 2/R**のそれぞれに2つの入力端子（XLRとTRS）があります。
これらのアナログ入力端子には同時に信号を入力しないでください。同時に信号を入力すると、信号が本機に正しく入力されません。

リアパネル



注意

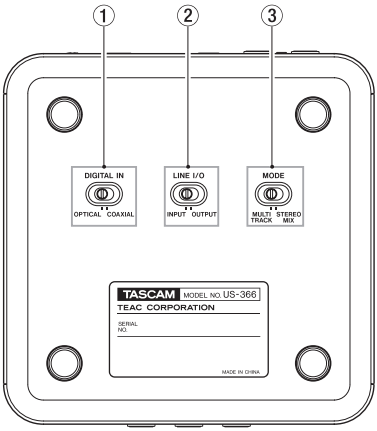
USB1.1には、対応していません。

メモ

US-366の**DIGITAL IN** ／ **OUT**端子は、24ビット／192kHzの同時入出力に対応しています。

本体の設定をする

本機のボトムパネルには、US-366では「**DIGITAL IN**、**LINE I/O**、**MODE**」、US-322では「**MODE**」の選択スイッチがあります。



注意

これらの操作を行うときは、アプリケーションを閉じてUSBケーブルを本機から抜いた状態で行ってください。

① DIGITAL INスイッチ（US-366のみ）

デジタルの入力に同軸ケーブルを使うときは「**COAXIAL**」に、光ケーブルを使うときには「**OPTICAL**」に設定してください。

メモ

同軸ケーブルと光ケーブルの同時入力はできません。

② LINE I/Oスイッチ（US-366のみ）

リアパネルのRCA端子を出力に使うときは「**OUTPUT**」に、入力に使うときは「**INPUT**」に設定します。

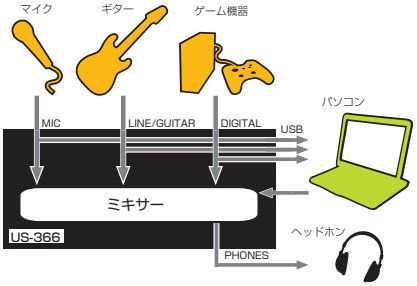
③ MODEスイッチ

本機への入力音とパソコンから出力した音をミックスした後にパソコンに返す／返さないを切り換えられます。状況に応じて切り換えてください。

MULTI TRACKモード：

各入力はミキサーに入ると同時にUSB経由で別々のチャンネルとしてパソコンに送られます。ミキサーからはステレオで出力され、スピーカーやヘッドホンから聴くことができます。

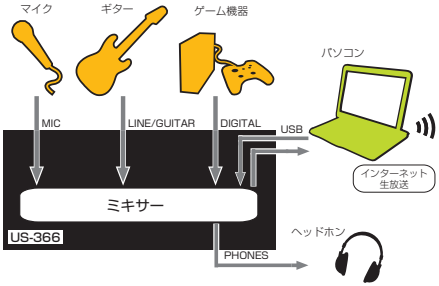
使用例：DAW（例：Cubase）などを使用する場合



STEREO MIXモード：

各入力はミキサーに送られ、ミキサーからのステレオ出力がUSB経由でパソコンに送られます。またミキサー出力はスピーカーやヘッドホンからも聴くことができます。

使用例：インターネットの生放送などを行う場合



USBケーブルを接続する

これらの設定が終わったら、USBケーブルを接続してください。

注意

USB1.1には、対応していません。

ドライバーソフトの設定をする

本機のトップパネルにあるMIXER PANELボタン（次項を参照）を押して、パソコンのディスプレー上にミキサーパネルを表示します。

INTERFACE画面の設定

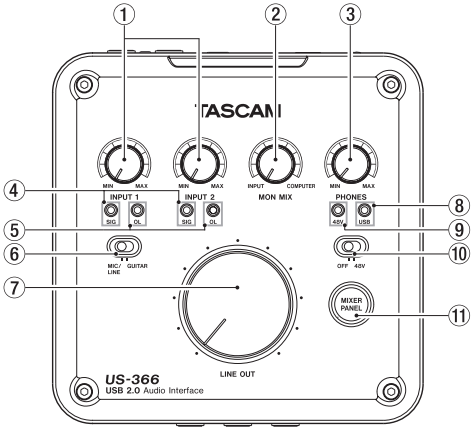
ミキサーパネル画面には3つのタブ画面があり、その中の《INTERFACE》タブを選択して下記の《INTERFACE》画面を表示します。

① Sample Clock Source
通常は、《Automatic》に設定します。

② Digital Output Format
通常は、《S/PDIF》に設定します。
プロ機器などで《AES/EBU》にする必要がある場合には設定を変更してください。

他の設定項目については、取扱説明書をお読みください。

入力音を聴く



① INPUT 1 ／ 2つまみ
INPUT 1/L、INPUT2/Rの入力レベルは、それぞれの調節つまみ（INPUT 1、UNPUT 2）で行います。OL（オーバーロード）インジケーターが点灯しないように調節してください。

② MON MIXつまみ
本機の入力音とUSB経由で入力されたパソコンの再生音のバランスを調節します。

③ PHONESつまみ
ヘッドホン出力端子（PHONES）からの出力レベルを調節します。

④ SIGインジケーター
各チャンネルに信号が入力されている（−30dBFS以上）ときに点灯します。

⑤ OLインジケーター
入力が歪む直前（−2dBFSを超えた場合）で点灯します。

⑥ MIC/LINE-GUITAR切り換えスイッチ
LINE/GUITAR入力端子にギターやベースなどを接続する場合は、スイッチを「GUITAR」側にしてください。その他は「MIC/LINE」側にしてください。

⑦ LINE OUTつまみ
ライン出力端子（OUT 1/L、OUT 2/R）からの出力レベルを調節します。

⑧ USBインジケーター
USB接続が有効なときに点灯します。

⑨ 48Vインジケーター
48Vスイッチを「48V」側にするとインジケーターが点灯します。

⑩ 48Vスイッチ
MIC入力端子にファントム電源を供給するためのスイッチです。スイッチを「48V」側にすると、その上の48Vインジケーターが点灯します。

⑪ MIXER PANELボタン
このボタンを押すと、パソコンのディスプレー上にミキサーパネルを表示します。

注意

- ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。
- 48Vスイッチのオン／オフ切り換えは、PHONESつまみとLINE OUTつまみを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。
- 48Vスイッチをオンにした状態でマイクの抜き差しをしないでください。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、48Vスイッチをオンにしてください。
- アンバランスタイプのダイナミックマイクにファントム電源を供給しないでください。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合はリボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- 48Vスイッチをオンにすると、バッテリー電源のノートパソコンを使って本機を駆動している場合、パソコンの電源の消耗が早くなります。

ミキサーパネルでミキサー機能を使う

本機のトップパネルにあるMIXER PANELボタンを押して、パソコンのディスプレー上にミキサーパネルを表示し、《MIXER》タブを選択して下記の《MIXER》画面を表示します。

① パンスライダー

ノブを左右にドラッグして各チャンネルの定位を設定します。

センター（C）になっているときは青色、それ以外はオレンジ色で表示されます。

② フェーダー

ノブを上下にドラッグして各入力のミックスバランスを調節します。また、MASTER L/Rフェーダーを使用して、ミキサーの出力レベルを調節します。

他の設定項目については、取扱説明書をお読みください。

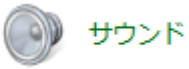
パソコンの設定をする

WindowsおよびWindows Media Player

1. すべてのアプリケーションを終了し、《スタート》より《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。

メモ

上記項目が見当たらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックした後に表示されます。



3. 《再生》タブをクリックし、《スピーカー TASCAM US-322》（または《スピーカー TASCAM US-366》）をクリックし、《既定のデバイスとして設定》をクリックします。

このとき、緑のチェックマークが《スピーカー TASCAM US-322》（または《スピーカー TASCAM US-366》）に移動します。

インターネットで生放送を行うなど本機を録音デバイスとして使う場合に、次の設定も行ってください。

録音タブをクリックし、《ライン入力 TASCAM US-322》（または《ライン入力 TASCAM US-366》）をクリックし、《既定のデバイスとして設定》をクリックします。このとき、緑のチェックマーカーが《ライン入力 TASCAM US-322》（または《ライン入力 TASCAM US-366》）に移動します。

4. 《OK》をクリックします。

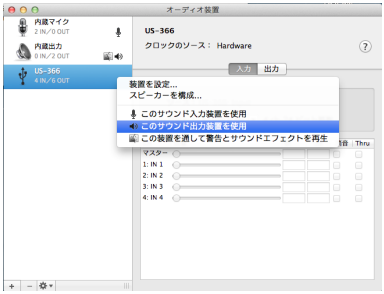
5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルの再生を行ってください。

メモ

- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーや**PHONES**端子からは音が出なくなります。
- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。
- Windows Media Playerの出力を本機の**DIGITAL OUT**端子から出力したい場合は、ミキサーパネルのINTERFACEタブ画面で**《DIGITAL OUTPUTS》**を**《Computer 1-2》**に設定してください。

Mac OS XおよびiTunes

1. **《アプリケーション》**フォルダーの中の**《ユーティリティ》**フォルダーの中にある**《Audio MIDI 設定》**をダブルクリックして起動します。
2. **《オーディオ装置》**を開き、**《US-322》**（または《**US-366**》）が選択された状態で**《US-322》**（または《**US-366**》）をコントロールキーを押しながらクリックして表示される**《このサウンド出力装置を使用》**をクリックします。スピーカーのマークが**《US-322》**（または《**US-366**》）に移動します。



インターネットで生放送を行うなど本機を録音デバイスとして使う場合には、次の設定も行ってください。
《オーディオ装置》を開き、**《US-322》**（または《**US-366**》）が選択された状態で**《US-322》**（または《**US-366**》）をコントロールキーを押しながらクリックして表示される**《このサウンド入力装置を使用》**をクリックします。
マイクのマークが**《US-322》**（または《**US-366**》）に移動します。

3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

メモ

iTunesの出力をミキサー機能を通さずに本機の**DIGITAL OUT**端子から出力したい場合は、ミキサーパネルのINTERFACEタブ画面で**《DIGITAL OUTPUTS》**の**《Computer 1-2》**に設定してください。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 ／ 13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
http://tascam.jp/

Printed in China